

令和元年9月18日

浦添市議会議長 殿

総務委員会  
委員長 松下 美智子

### 総務委員会行財政視察報告書

令和元年8月19日から令和元年8月21日まで、委員会視察を実施いたしましたので、下記のとおり報告します。

#### 記

- |         |   |          |  |
|---------|---|----------|--|
| 1 視察期間  | 令和元年8月19日（月）～令和元年8月21日（水）   |          |  |
| 2 視察場所  | 兵庫県西宮市、明石市  |          |  |
| 3 視察項目  | 西宮市<br>第5次西宮市総合計画策定の取り組みについて<br>明石市<br>(1) 明石市のSDGsの全体像、理念、概要及び<br>今後の総合計画及び実施計画との関連性<br>(2) SDGs未来都市にある（仮称）あかしインクルーシブ<br>条例の制定に向けた取り組み |          |  |
| 4 視察参加者 | 委員長 松下美智子   | 委員 古波蔵保尚 |  |
|         | 副委員長 新垣 有太  | 委員 又吉 謙一 |  |
|         | 委員 島尻 忠明  | 委員 西銘 健  |  |
|         | 委員 比嘉 克政  |          |  |
| 5 調査内容  | 別紙のとおり  |          |  |

|  |   |
|--|---|
| 視察日  | 令和元年8月20日（火） 午前9時30分～午前11時30分   |
| 視察先  | 兵庫県西宮市<br>人口 487,473人 （令和元年7月1日現在）<br>市面積 99.96 km <sup>2</sup><br>議員定数 41人 |
| 視察市の概要   |   |
| 【文教住宅都市】兵庫県の東南部、大阪と神戸の中間に位置し、六甲山を背に大阪湾を望む。阪神都市圏のベッドタウンの性格も持つ。2008年4月に中核市に移行。2009年に、人口が阪神・淡路大震災前の42万人を大きく上回り、48万人を超えた。また、春・夏の高校野球大会が開催される「甲子園球場」のあるまちとして知られる。9つの大学・短大が立地し、多くの学生や研究者が集まるカレッジタウン。2015年、変更後の総合計画に基づき、「ふれあい 感動 文教住宅都市・西宮」の実現に向けて、取り組みを進めている。                      |   |
| 調査項目   |   |
| 第5次西宮市総合計画策定の取り組みについて  |   |
| 調査理由   |   |
| 浦添市では、2021年度から今後10年の第五次総合計画を策定する予定となっている。西宮市では、市民の意見を反映させるために、広聴会、市民アンケート、市民ワークショップ、説明会を実施している。浦添市の総合計画に参考になると考えた。   |   |
| 調査内容   |   |
| 第5次西宮市総合計画策定の取り組みについて  |   |
| 1. 策定までの取り組みについて   |   |
| (1) 広聴会の開催方法について。また、どういう意見があったか。（計画策定に取り入れた意見、参考になる意見、参考にはならなかった意見など、ある程度集約してお答え下さい。）  |   |
| (2) アンケート実施対象選定方法について。また、結果からどのようなことが得られたか。  |   |
| (3) 市民ワークショップ “みんなで” みやカフェ” の開催方法や当日の状況及び収穫について  |   |
| (4) 説明会でどういう意見があったか。（計画策定に取り入れた意見、参考になる意見、参考にはならなかった意見など、ある程度集約してお答え下さい。）  |   |
| 2. 第5次西宮市総合計画の特色及び力を入れている方向性はこういったものか。   |   |
| 3. 総合計画は議決事項としましたか。議決事項とされていたらその条例等について  |   |
| 考察   |   |
| 1. 計画の策定過程において、市内での広聴会（9地区）、市民アンケート、市政モニター調査、商工会議所関係企業アンケート、団体アンケート及び団体広聴会、学識経験者懇談会、市民ワークショップ、計画の地域別説明会（9地区）、審議会、パブリックコメントを実施し、実に約2年近くかけて様々な方法で市民から幅広く意見を聴取する取り組みや総務常任委員会等への所管事務報告を定期的に行うなど、議会や市民の意見を計画に反映させようという当局の努力が伺える。また、収支見通し及び事業計画等についても議会に対し説明を行っている。浦添市も参考にする必要がある。 |   |
| 2. 基本構想及び基本計画を、議会で議決すべき事件として条例化している。本市においても早急に議員提案で条例化する必要があると考える。総務委員会提案でもいいのではないか。   |   |
| 3. 課題としては、業務委託する際の業者選定は注意する必要があることや市民ワークショップで出てくる意見は、大局的な（大きな）課題に対する意見はあまりなく、生活に身近な課題に対する意見が多くなることを知っておく必要がある。<br>また、集約した意見が具体的にどこに反映されたのか分かりにくい部分があったことや西宮市の場合、計画に数値目標をあえて掲げていない点については気になった。  |   |



|  |  |
|--|--|
| 視察日  | 令和元年8月20日（火） 午後2時30分～午後4時30分   |
| 視察先  | 兵庫県明石市<br>人口 299,031人 （令和元年7月1日現在）<br>市面積 49.42km <sup>2</sup><br>議員定数 30人 |
| 視察市の概要   |  |
| 【未来安心都市・明石】東経135度、日本標準子午線上にある。瀬戸内海に面しており、明石海峡をはさんで淡路島を眼前に臨む。まちづくりの原動力である「ひと」とりわけ「子どもの育ち」を通して、あらゆる分野、あらゆる世代の元気を生み出す将来都市像をめざし、「人が選び、集まる」「人が出会い、つながる」「人が学び、成長する」の3つの視点からまちづくりをとらえ、戦略的なまちづくりを進める。2018年中核市に移行。  |  |
| 調査項目   |  |
| 1. 明石市のSDGsの全体像、理念、概要及び今後の総合計画及び実施計画との関連性<br>2. SDGs未来都市にある（仮称）あかしインクルーシブ条例の制定に向けた取り組み   |  |
| 調査理由   |  |
| 「誰ひとり取り残さないまちづくり」「福祉のまちづくり」の先進市である明石市において、SDGsにも力を入れていることがわかり、ぜひ調査を行いたいと考えた。   |  |
| 調査内容   |  |
| 1. 明石市のSDGsの全体像、理念、概要及び今後の総合計画及び実施計画との関連性<br>（1）明石市のSDGsの全体像、理念、概要について<br>（2）明石市のSDGsと今後の総合計画及び実施計画とどう関連性を持たせるのか。<br>お考えがあればご教授下さい。<br>2. SDGs未来都市にある（仮称）あかしインクルーシブ条例の制定に向けた取り組み<br>（1）これまで取り組んできた内容の概要について<br>（2）当事者からのヒアリングを実施していればその意見について<br>（3）今年度予定している取り組みの概要について<br>（4）予定している条例の目的や方針について  |  |
| 考察   |  |
| 1. SDGsについては、理念や目標を、どのように実効性あるものにするかが大きな課題。明石市における先駆的な子育てや福祉施策は市長主導で進められている印象。70歳以上の高齢者のバス運賃無料化。児童相談所の設置。保育所の給食費（副食費）の無料化。認可保育所の2,000名規模での整備など多くの先駆的な施策を実施していることに、SDGsの理念や目標を実施するという強い意思が伺える。<br>しかし、同時に人件費削減を実施し、また、予算の枠組みの中で土木費を削減しているところは、その後、明石市に与える影響を注視しなければならないのではないかと。<br>財政部局や、土木費担当部局の分析や見解も今後確認してみたい。<br>子どもを核としたまちづくり、誰にでもやさしいまちづくりについて、明石市長の政策がすばらしい。<br>2. インクルーシブ（包括的）条例については、基本構想の時代認識として人口減が進む時代において、障がいのある人もない人も誰もが安心して暮らせる「やさしいまちづくり」の実現に向けて、2012年から協議会やイベント、当事者との意見交換、総合福祉センターの設置など、様々な取り組みを重ねており、その集大成としての条例が「インクルーシブ（包括的）条例」の制定であることが分かった。その粘り強い市の取り組みは、浦添市も見習うべきである。以前より取り組んできたことが、時機を得てSDGsと合致したように思う。 |  |

